

採用以降の学芸員制度の課題

20210412 佐久間大輔

1. 中長期的な課題を担うスタッフとして

●資料責任者にふさわしい雇用体制：博物館の将来を担う職員か、将来を求められていない職員（会計年度任用、非常勤）なのか

中長期的な計画（＝博物館の発展、人材育成）について責任を持って担える職員なのか。ある意味では（短期で変わりうる）館長がいるかどうかよりも重要な視点といえる。

→認定審査時にも館長という決裁権者重視なのか、学芸員という資料責任者重視なのか（もちろん同一であることは望ましいが）検討必要。特に活用が重視される昨今ではアクセルとブレーキをはっきりさせる意味で資料担当者は重視すべきか。

●専門職としての任用：学芸員の発令をされているのか＝専門職として任用し、博物館の資料責任者として処遇しているか、事務職員か

博物館関係部局が、博物館の専門職員の必要性を、博物館法をどう認知しているか。これをきちんと認知してない場合には、安易な人事異動の危険や研究や研修の必要性への無理解につながる。専門職員としての任用は重要。

●研修充実の必要性：採用後に学芸員としての成長を図れるか。周囲との連携を図れるか

専門職はアップデートと研鑽が欠かせない。人材の成長なくして博物館の発展はない。海外への派遣が予算化されたが、国内の学会参加についても制度があると良い。本人への旅費参加費補助＋雇用者へのアルバイト費用などのインセンティブ

参加費補助の実例は全国科学系博物館協議会などがある。学会の参加補助などは判断のつきやすい館種別団体などと協力すれば実現可能ではないか。

●地域の学術・文化の中核となっていけるか

大学などとの連携、地域の人材との連携をすすめるためのネットワーク推進

これらを通して、学芸員自身の課題以外に採用した博物館設置者（管理者）の課題が大きい。学芸員の要件や認定の際の要件など法が方向性を示し、政省令や通達で方針を示すことでも影響を与えることができる。

2. 博物館の多様な課題を解決するために

●非専従型学芸員について：多様な人材の参画を実現し博物館の機能向上を実現するためには、ダブルワーク、短時間勤務などを許容する学芸員制度も必要。ただし、1が実現していることが前提で、博物館の労働環境の改悪につながらないことが前提。会計年度任用職員などはこちらに活用すべきか。2. から1. への任用替えなどキャリアパスは必要

→こうした前提では学芸員補の勤務年数規定、博士所持者の認定の年数規定などは実態に合わなくなる

●多様な「博物館」のあり方に対応した学芸員制度の必要性について：2006年「新しい時代の博物館制

度の在り方について」などに示されるように町並みミュージアムのような多様なあり方を考えるとき、施設でなくプロジェクトに所属する「学芸員」も積極的に認めていくほうが文化的価値の増大や保存につながるることができる。現行の博物館法ではそうしたあり方は想定していない。

公立博物館の働き方、には地方公務員制度との調整なども必要だが、指針を示すことで影響を与えることはできる。

博士・修士学位取得者向けの学芸員資格取得プログラムについて

20210412 佐久間大輔

大学院などで専門研究キャリアを積んだ人材は博物館での専門研究を進めていく上では貴重である。しかし、実際の採用場面では学芸員資格を保持していないことが問題になるケースがある。自然史系などではしばしば問題になるケースが過去にもあった。

大学院生の学芸員資格取得には以下のような課題がある

院生側の事情

- ・大学によってはそもそも大学院生が他学部の学部単位を取得できない（もちろん大学院では開講していない）
- ・放送大学や通信制での単位取得には経済的負担も大きい
- ・フィールドワークなどで大学から離れた隔地で研究している場合もある

大学院側の事情

- ・それほど多くの希望者がいるわけではなく単独大学院で開講できるほどにはニーズはない
- ・大学院生は専門分野の資料についての理解は学部生に比べ格段に深い。学部と同じプログラムでよいのか。

博物館側の事情

- ・専門研究をできる人材はほしい、しかし博物館の制度や他分野の博物館資料についての最低限の理解はしてほしい。博士号による認定ではその意味で不十分か。

提案

放送大学など通信制大学による大学院生向け科目の開講と大学院による単位互換契約による資格取得支援（博士課程学生、博士取得済みの PD、研修員など限定）ただし、各科目の授業数を短縮し、

その代替としての博物館インターン制度（ジョブマッチング的な研修）

受け入れ博物館は議論されているネットワークの中核になる博物館、

あるいは公募してプログラム認定（公益的機能の高い博物館として交付金加算などのインセンティブ付き）